

教科 図画工作・美術

	指導の重点	努力事項
指導計画の作成	○ 授業で育成すべき資質や能力を明確にし、子ども一人一人が個性を生かして、主体的・創造的に学習できる指導計画に改善する。	○ 幼稚園、小・中学校・高等学校の接続や〔共通事項〕を意識し、育てたい資質や能力を明確にして題材を構想できるように指導計画を改善する。 ○ 子ども一人一人のよさが発揮されるように、内容に幅のある題材を工夫し、指導計画に位置付ける。 ○ 表現と鑑賞のバランスと関連性及び〔共通事項〕の視点を生かした題材や授業のねらいの系統性を考慮して、調和の取れた指導計画に改善する。
指導の工夫	○ 子どもが感性を働かせながら、喜びをもって創造活動の基礎的能力を培うことができる授業展開を工夫する。 ○ 校内の鑑賞の環境づくりや美術館等の活用を図るとともに、安全指導を徹底する。	○ 題材を自分のものとして受け止め、表現への思いや願いをふくらませることができるよう、魅力ある題材との出会いを工夫する。 ◎ 表現及び鑑賞における言語活動を充実し、学びをコーディネートしながら豊かな造形的視点をもって対象をとらえることができるようにする。 ○ 表現内容や表現形式・技法・材料などを自己選択・自己決定したり、試行錯誤しながら創意工夫したりする場面を意図的に位置付ける。 ○ 児童生徒の作品の展示場所や飾り方を工夫したり、美術館等の施設や美術的な文化財を活用したりして、表現意欲と鑑賞の能力を高める。 ○ 事故防止のため、道具や薬品等の安全指導と保管に十分留意する。
評価の充実	○ 子ども一人一人が自分のよさを自覚し、意欲的・意図的に創造活動に取り組める評価を工夫する。	○ 〔共通事項〕の視点から活動の中でどのような資質や能力が身に付くかを明確にした評価計画を作成する。 ◎ 表現してきた過程を振り返り、自分のよさを自覚できる評価を工夫する。

問題解決的な学習を中軸とした授業の充実のために

※は参考文献等

授業づくりのポイント5 (「【参考資料】確かな学力の向上のために」P13)

思考の共有と吟味を促す学び合いをコーディネートする力の向上

◎ **表現及び鑑賞における言語活動を充実し、学びをコーディネートしながら豊かな造形的視点をもって対象をとらえることができるようにする。**

- ・ 表現したいテーマやイメージを図や言葉、文章で表して、それらを基にした説明し合う活動などを位置付ける。

- 例
- ① アイディアスケッチ等で構想を練ったり言葉や文章で思い付いたことを整理したりする。
 - ② アイディアスケッチや整理したものをもとに本時の学習内容に関する視点を与え、ペアやグループ、全体で話し合わせる。
 - ③ 友達の話から、自分では思い付かなかったこと、さらによりよい表現になるヒントを取り入れ、表現に生かす。

【言語活動の充実の工夫】

- アイディアスケッチなどに感じたことや考えなどを整理する。
- 話したり話し合ったりする。
- 説明し合ったり価値意識をもって批評し合ったりする。
- 討論や根拠をもって批評し合う。

※ 言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～
【小学校】【中学校】(文部科学省)

授業づくりのポイント6 (「【参考資料】確かな学力の向上のために」P15)

学習内容の定着を図る「振り返る活動」の充実

◎ **表現してきた過程を振り返り、自分のよさを自覚できる評価を工夫する。**

- ・ 自分の表し方の変化や友達の表現のよさをどのように取り入れたかなど、友達とかわりながら表現してきた過程を振り返ることができるようにする。

- 例
- 題材の終末では、材料や表現技法、完成した作品の振り返りだけでなく、試行錯誤する中で、自分の迷いや解決した喜び、感じ取った造形的なよさ等を記載できるような学習カード(「表現の足跡」「表現物語」等)を工夫する。